



観光地ブランディング

石山 怜奈

Rena Ishiyama

出身 山形県山形市

所属 商工観光課

任期 R6.4~

活動紹介1

動物園や地域に関するデザイン・広報支援

河北町児童動物園を中心に、観光地やお祭りに関するグラフィックデザイン制作や広報・記録撮影、SNS広告制作・Instagramの運用などを行っています。

町が準備を進めてきた動物園新施設のプレオープン日が、「かほくお花見横丁(かほく地域創造青年会議主催)」と、どんがホールで毎月開催されている「かほくどんがマルシェ」と同日となりました。各イベントの主催者にご協力いただき、3イベントを巡る「かほく春めぐりスタンプラリー」を企画し実施

しました。各イベントに集まった多くのお客さまに動物園のリニューアルオープンをPRすることができました。

令和7年度は河北町立中央図書館さまからの依頼で、図書館30周年記念事業の広報物やノベルティデザインを制作しました。開催中の図書の貸し出し冊数も増加し、好評をいただきました。令和8年度も規模を変えての開催を予定しています。

また、2025年2月からAmazonほしい物リストを活用し、動物園へ商品を寄附できるしくみを運用中です。飼育員さんが選定した物品を掲載し、2026年2月現在、商品点数98点・約20万円分の寄附をいただきました。

活動紹介2

野生鳥獣救護所の役割を伝えるお手伝い

地域おこし協力隊着任から、河北町児童動物園の野生鳥獣救護所の部分を伝えていきたい!という思いを持って活動しています。

令和7年度の活動として、動物園の野生鳥獣救護所の実務を支援している、やまがたヤマネ研究会さまのご協力をいただきながら、救護ができない鳥獣を知らせる掲示物や、YTS「ふるさと通信」の映像制作を行いました。

また、町立図書館での展示の機会をいただき、鳥獣の救護に関するクイズと

図書館司書さんに選書いただいた動物の本を展示しました。展示したクイズは、動物園主催イベント「救護動物を学んで自分だけの羽根ペンを作ろう」のために飼育員さんが制作したクイズを再編集させていただいたものです。展示をきっかけに動物園イベントに参加してみたいと思ってもらうことを目的に、イベント開催の様子やイベントで作った実際の羽根ペンも展示しました。

クラウドファンディングや有名なテレビ番組の放送、ヤマネ研究会さまの取り組みで大幅に野生鳥獣救護事業の認知度が高まってきたと感じています。引き続きデザインや広報の面でのサポートに取り組んでいきます。



Q.協力隊になったきっかけは?

A.大学生のときに、河北町児童動物園を題材にブランディング提案をしたことです。

Q.河北町の好きなところは?

A.食べ物があるとおいしいところです。今年はケールをたくさん食べました。

今後の抱負

協力隊退任に向けて

協力隊任期中にやり切らなければならないこと・引き継ぐこと・退任後も継続できることを関係各所と整理・共有し、1年間かけて引き継ぎを行います。協力隊として最後の1年間、どうぞよろしくお願いいたします。